

舞殿を資材などの仮置き場所にする。（紙、マジック、セロテープ、ガムテープ）

1. 幟立て関係

（1）幟の仕分け

- ・立てるのぼりを選別（立てないのは箱に戻す）
- ・境内に立てる幟、祭礼原に立てる幟（市場常会用）に分けてビニル袋に入れる。

（2）金具と塩ビパイプ

- ・金具を必要数だして、市場常会用（4個）とその他（28個）に分けて置く
（ナット径32ミリが締められるスパナを3つ用意する）
- ・塩ビパイプをネジ止め
- ・塩ビパイプを市場常会用（2個）とその他（14個）に分けて置く。

（3）幟立て用の竹の先端の径の確認

- ・竹の先端が塩ビパイプに入るか確認する（入らないのは除外→とんど用）
- ・16本を用意する。

2. 注連縄張り関係

（1）大注連縄のA班、B班用に

- ・取り付け資材（青竹、針金など）を分けて置く。
- ・紙垂はビニル袋に入れて分けて置く。

（2）小注連縄のD班とE班と祭礼原（市場常会）用に

- ・取り付け資材（青竹、針金など）を分けて置く
（ササ付き青竹は、現置き場から各班に持って行ってもらう。）
- ・紙垂（縄に巻いてホッチキスで止める）とワラも同様に分けて置く。

3. 帳場作り関係

帳場の設置位置を確認し印をつける。

神輿倉から資材を取り出し、まとめて置く。

4. 配置表などの配布

各班の資材置き場に「作業分担計画」、「神社境内図」、「幟の種類と設置位置」、「注連縄の種類と本数」を2部ずつ置く

5. その他

夜間照明の確認 → 12日19時に舞殿に点灯し、舞台と周辺の明るさを確認する。
必要なコードリールと照明器具を手配（リースを含む）する。

6. その他